

事務事業名	優良種豚導入支援事業				担当	産業部 農政課 園芸畜産係	
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名		
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和50年度～）	
予算科目	1. 一般会計	6. 農林水産業費	1. 農業費	5. 畜産業費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	優良種豚の導入は繁殖能力の向上と肉質改良を図るため、3年間の導入計画に基づき、3年ごとに補助を実施している。導入した養豚組合員に対し、導入費の1/4以内（上限雄豚37,500円、雌豚20,000円）を補助している。 導入年度は、H18年度、H21年度、H24年度、H27年度、H30年度で、次回はR3年度に実施予定。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 ・補助対象年度ではない 2年度計画 ・補助対象年度ではない	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 補助金額	千円	0	0	1,130	0	0	
イ							
ウ							
エ							
オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・養豚農家数	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 養豚農家数	戸	12	12	12	12	12	
イ							
ウ							
エ							
オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・計画的な優良種豚の導入促進	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 補助導入農家数	戸	0	0	5	0	0	
イ 導入率	%	0	0	42	0	0	
ウ							
エ							
オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・畜産物の効率的生産の促進	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 導入頭数	頭	0	0	47	0	0	
イ							
ウ							
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	1,130	0
	事業費計(A)	千円	0	0	1,130	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	1	0
		延べ業務時間	時間	0	0	10	0
		人件費計(B)	千円	0	0	42	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	1,172	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	計画的に体型資質及び能力の高い原種豚を導入し、繁殖能力の向上と肉質改良を行い、養豚経営の安定を図るため開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	畜産経営は、肥料及び配合飼料の価格高騰等により厳しさを増している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	